

市民のくらしと福祉の充実へ

日本共産党市議団が新年度予算に要望書提出



日本共産党沼田市議団（井之川博幸、大東宣之）は19日、沼田市の新年度予算編成にあたり、「市民のくらしと社会福祉の充実、産業の育成・地域経済の活性化などをすすめる」ため、46項目の予算要望書を星野已喜雄沼田市長と宇敷重信教育長に提出し、申し入れを行ないました。

要望書の内容を紹介します。



井之川博幸市議

2013年度予算要望項目

（総務）

- 1 防犯灯は全面的にLEDを導入すること、また管理は市で行い、電気料は市が負担すること。当面カットされている電気料補助金は、ただちに元にもどすこと。
- 2 政府に消費税増税中止を要求するとともに、市の公共料金への転嫁をやめること。
- 3 歴史的景観や田園景観の保護のため、景観条例を策定すること。
- 4 公共施設に太陽光発電設備の設置を促進するとともに、メガソーラの導入も検討すること。
- 5 官製ワーキングプアの改善と、公契約制度を制定すること。
- 6 （仮称）利南運動公園については、早急に利活用方法を決めること。

（民生）

- 7 国民健康保険については特に中低所得者層の保険税を引き下げるとともに、保険証は全世帯に交付すること。また、国民健康保険の自己（窓口）負担の減免制度を新設すること。
- 8 後期高齢者医療制度を廃止させるとともに、70才以上の医療費を無料化すること。

ウラのページへつづく

戦争をするための道…自民党の憲法改悪案

9条を守る会が学習講演会

利根沼田九条の会主催の「憲法を考えるつどい」が、17日東原新町会館で開催され、約50人が参加しました。



村越弁護士の講演を聞く参加者

木村代表のあいさつのあと、村越芳美弁護士が、「最近の改憲動向について」と題して、憲法9条の改悪や国家緊急権の創設など、国民の権利を押さえつけて戦争ができる国造りをめざしている自民党の憲法改正草案の内容などについて講演しました。

参加者からは、自民党などの改正案があまりにもひどいという驚きの声があがっていました。

グリーンベル21の1階に沼田マルシェが開店

Aコープが撤退してから、さびれるばかりだった「グリーンベル21」に久々に活気が戻ってきました。15日に「沼田マルシェ」という食料品販売のお店が新規開店しました。街中に生鮮食料品を販売するお店がなくなって、高齢者の方々が困っているといわれてきた問題が解決し、少しでも街中が活性化されればよいと思います。しかし、開店祝いの招待状をもらった市長をはじめ、市の関係

職員などはひとりも出席しなかったとか。残念ですね。



原町元気まつり

くじを引く母子

←左の写真は、西原・東原・上原・桜町が西宮神社境内で行なった第1回原町元気まつりのくじ引きイベント

2012年11月25日 No.635

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料